

大分県立看護科学大学 平成 13 年度公開講座

21 世紀の看護 いま、看護職に求められているもの

高橋 久夫 Hisao Takahashi

大分県立看護科学大学 地域交流・公開講座委員長 Oita University of Nursing and Health Sciences

近年、高齢者人口や成人病の増加とともに健康に対する関心がかなり高まってきている。

病気の発生には、食事や環境の変化、ストレス、老化など多くの要因がかかわっており、病気の予防や健康維持のための情報が強く求められている。それにともなってコミュニティ・カレッジとしての大学の役割がきわめて大きくなってきていると言っても過言ではない。

本学では、昨年度までは地域の一般住民を対象としてきたが、13年度からは趣向を変えて看護にたずわる看護専門職を対象として講座を開くことにした。日程は今までと同じで、9月から11月までの隔週土曜日の5回シリーズで実施した。統一テーマを「21世紀の看護」とし、「いま、看護職に求められているもの」を副題とした。

開催日時、演題および担当講師は次に示した通りである。

| | | | |
|-----|-----------|---------------|------------------------------------|
| 第1回 | 9月15日(土) | 14:00 ~ 16:00 | 「21世紀を生きるための看護継続教育:海外諸国の例」 洪 麗信 |
| 第2回 | 9月29日(土) | 14:00 ~ 16:00 | 「コミュニケーション・スキルをどう育てるか」 関根 剛 |
| 第3回 | 10月13日(土) | 14:00 ~ 16:00 | 「看護診断、いま求められているもの」 藤内 美保 |
| 第4回 | 10月27日(土) | 14:00 ~ 16:00 | 「家族を看護する」 木下由美子 |
| 第5回 | 11月10日(土) | 14:00 ~ 16:00 | 「看護の倫理と Professionalism」 平野 互 |

本学のこの公開講座が少しでも、看護活動の第一線にたずさわる看護職の人々の役に立ち、ひいては地域社会の人々の健康で意義ある日常生活と結びつくことは、大学の社会的貢献として意義があるだけでなく、大学における学術研究の発展にもつながることと確信する。本講座が、大学と地域社会との交流の、さらに新たな発展を生み出すことを期待してやまない。